

## 令和7年度第1回八千代市福祉有償運送運営協議会会議録

開催日時：令和7年12月16日（火）午前9時58分から午前10時52分まで

会場：八千代市役所別館2階 第1・2会議室

出席者：江守会長，小久保委員，佐藤委員，中本委員，平野委員，井上委員，神代委員  
計7名

欠席者：唐澤委員，廣瀬委員，上田委員

事業者：特定非営利活動法人テンダーケア，特定非営利活動法人ユーアイやちよ，社会福祉  
法人八千代市身体障害者福祉会

事務局：三島副主幹，菅野主事，堂園主事

公開又は非公開の別：公開

傍聴人：0人（定員5人）

議題1 八千代市における福祉有償運送の必要性について

議題2 特定非営利活動法人テンダーケアにおいて実施する福祉有償運送の更新申請について

議題3 特定非営利活動法人ユーアイやちよにおいて実施する福祉有償運送の更新申請について

議題4 社会福祉法人八千代市身体障害者福祉会において実施する福祉有償運送の更新申請について

配布資料：資料1 八千代市における福祉有償運送の必要性について

資料2 特定非営利活動法人テンダーケア 更新申請資料

資料3 特定非営利活動法人ユーアイやちよ 更新申請資料

資料4 社会福祉法人八千代市身体障害者福祉会 更新申請資料

### 議題1 八千代市における福祉有償運送の必要性について

事務局から，配布資料を基に市内の状況及び福祉有償の必要性に関し説明。

市内の状況については，令和7年3月末の移動制約者の状況及び対象者の推移，福祉タクシー券の利用者数の推移，市内の道路運送法上の事業許可を取得している事業者数及び車両数について報告し，増減があるか等を説明。

本制度の対象となる要介護者や要支援者，障害者手帳所持者数はそれぞれ増加傾向であることや福祉タクシー券の利用については令和6年度より高齢者の交付対象の見直しが行われたことで大きく増加していること，車両についてはジャパンタクシーなどのユニバーサルデザインタクシーの導入が増えているが，運転手による介助の難しさ等の課題があり，引き続き移送サービスの確保が必要である旨を説明。

## 質疑応答

### 質疑 1

江守会長：八千代市の福祉有償運送事業所（9事業所）のうち、6事業所でタクシー券が利用できるということによろしいでしょうか。

事務局：はい。八千代市社会福祉協議会、八千代市身体障害者福祉会、キューピット24の会、ユーアイやちよ、テンダーケア、移動サポート・ちば北総の6事業所でタクシー券を利用できます。

江守会長：残りの3事業所はどういった理由で使えないのでしょうか。

事務局：使えない理由について、個別に事業所に確認はしていませんが、事業所がタクシー券を取扱うには、市と協定を結ぶ必要があります。

江守会長：協定締結の確認や促進を協議会で議論しなくてよろしいのでしょうか。

事務局：今後、検討してまいります。

江守会長：利用者の利用のしやすさという意味では、推進していてもいいと思いますので、前向きに検討いただければと思います。

採決結果：賛成者全員により承認

## 議題2 特定非営利活動法人テンダーケアにおいて実施する福祉有償運送の更新申請について

事業所：福祉有償運送を始めて、今回で3回目の更新になる。UR都市機構の中心で事業を展開しており、家賃が安い米本団地の地域柄、母子家庭や低所得者、外国人、高齢者が多い。特に独居老人の方が非常に多く、病院の通院介助での需要が高い。過去3年間でコロナ禍や急激な物価高により事業の継続が危ぶまれたり、施設入所等で会員数が減少したりしたが、今後も地域の人に必要とされている限り、福祉有償運送を継続していきたい所存である。

## 質疑応答

### 質疑 1

江守会長：会員数はどれくらい減っていますか。

事業所：2割くらい減っています。要因としては、最近施設入所の比率が高かったこと等が挙げられます。

江守会長：事業の運営費には影響はありますか。

事業所：福祉有償運送の条件に、ヘルパー以上の有資格者や講習会の受講が必要になり

ますので、経験豊富なベテランの社員が行っており、パートではできないため、経費としてはなかなか難しい状況です。

## 質疑2

江守会長：料金の変更はありませんか。

事業所：過去3年間で事業の継続が難しい状況に追い込まれましたが、政府の動きなどで今後3年間どうなるのかわからない状況でもあるので、とりあえず現状のまま継続を考えています。

江守会長：妥当性について、小久保委員はいかがですか。

小久保委員：法改正がされ、周辺のタクシー事業者の8割程度を目安に料金の上限を定められるようになっていきます。利用者が値上がりにより利用が難しくなることもあるかもしれませんが、サービス自体が無くなるのと比較するとどちらがいいのかというのがありますので、今後も継続していくのに今の料金だと厳しいというのであれば、値上げについても視野に入れて検討いただければと思います。

江守会長：福祉有償運送の継続のために、事業の存続自体が危うくなるということもありますので、事業の存続という観点からも考えていただければと思います。

事業所：料金の変更は途中からでもできますか。

江守会長：はい。その場合は、協議会で協議する必要がありますので、書類等をご用意いただければと思います。

採決結果：賛成者全員により承認

## 議題3 特定非営利活動法人ユーアイやちよにおいて実施する福祉有償運送の更新申請について

事業所：法人の目的や活動事業などの事業所の概要や、運送の区域や車両台数などの福祉有償運送の概要について説明。また、今年3月の協議会で諮り、料金を改定していることや、旅客の方はひとりでの移動が難しく支援が必要であることについて説明。

## 質疑応答

### 質疑1

神代委員：料金改定により影響はありましたか。

事業所：6月から改定しており、はっきりとはまだ分かりませんが、単価が上がったことにより少しは赤字を減らせるのではないかと考えています。

神代委員：利用者の減少などの影響はありますか。

事業所：利用者は減少しています。ただ、毎週通院で利用する方もいるので、全体的な利

用頻度は昨年度と同じくらいです。まだ1年間分の集計はしていませんが、全体的に少しは改善されるのではないかと考えています。

## 質疑2

江守会長：旅客の対象者に変更はありますか。例えば、要支援・要介護のレベルが上がったことで対応に苦慮した等の状況を含めて、現状報告いただければと思います。

事業所：全体としてはあまり変わっていませんが、中には要支援だった方がだんだんと状態が悪化し要介護になる方もいます。また、今は対象から外れていますが、末期がんの方でドライバー以外の方も対応に入ったケースもありました。状態が重くなっていきますと在宅での生活が難しくなるので、そうした場合は施設入所として対象者数は減る形になります。新しい利用者がどういう状態かによって、対応は変わってくると思います。

江守会長：旅客の対象の数自体はほとんど変わらないということですね。

## 質疑3

小久保委員：運送の対価について、6月に変更したばかりということで、当分はそれで様子を見ていくということですか。

事業所：はい。

小久保委員：わかりました。採算の部分とかを見て今後改定していくことも視野に入れていきますか。

事業所：可能性としてあるかもしれませんが、変えたばかりですぐに変えるということはないと思っています。今の状況でいけるところまで頑張っていきたいと思っています。

採決結果：賛成者全員により承認

## 議題4 社会福祉法人八千代市身体障害者福祉会において実施する福祉有償運送の更新申請について

事業所：名称や所在地などの事業所の概要や、旅客の範囲や料金の算定方法などの福祉有償運送の概要について説明。

## 質疑応答

### 質疑1

江守会長：令和7年度は6名ですが、旅客の対象者に変更はありませんか。

事業所：今年度に登録された方の名簿を提出していますので、毎年ずっと決まった人ということではありません。

江守会長：毎年変わるものですか。

事業所：身体状況により施設入所の方等はいますので、登録人数は減少傾向です。

## 質疑 2

小久保委員：運送の対価について、収支・採算はとれているのでしょうか。

事業所：事業単体で見ると赤字です。

小久保委員：運送の対価が周辺のタクシー事業者の 8 割程度を目安に上限を設定できるようになりましたが、今後対価の改定は考えていますか。

事業所：物価上昇のこともあり非常に悩んだところではありますが、今回の更新では対価は変わりません。事業所内で対価の変更について意見も出ていますが、社会福祉法人であり営利目的で実施していないということも大事にしていますので、なるべく維持しつつ、利用者の方が利用しやすい料金設定をしていく形で進めてまいります。

小久保委員：対価を上げることで利用者が利用をためらってしまうという部分もありますので、事業の継続性との兼ね合いを見てご検討いただければと思います。

江守会長：非常に重要な視点かと思いますが、対価の変更についてご検討いただければと思います。

採決結果：賛成者全員により承認

江守会長：対象者がかなり増えており、事業所本体の運用もかなり厳しい状況だと思います。この協議会では移動の部分に着目して議論していますが、高齢者の介護・支援などの、本体の事業も社会的課題だと改めて実感したところですので、引き続き行政の方でも対応をよろしくお願いしたいと思います。

それから、福祉有償運送は、一部の移動に対して取り残されている人を抱っているとはいえ、全体を抱い上げることができていないのが現状です。さらなる公共交通機関に関する取り組みも必要になってくると思いますので、引き続きご協力いただければと思います。